

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学産科婦人科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020年11月 福島県立医科大学医学部産科婦人科学学講座 藤森敬也

【研究課題名】

子宮内感染症例に対する胎児心拍数モニタリング、分娩方法に関する後方視的検討

【研究期間】2020年11月～2024年3月

【研究の意義・目的】

胎児心拍数モニタリングは胎児の評価法として広く用いられています。

しかし子宮内の感染による脳性麻痺が一定数まだあるという報告があるといわれます。

子宮内感染の大きな課題として、その診断方法の統一があります。一般的には分娩後の胎盤病理所見により子宮内感染と確定しますが、感染を伴わない炎症による子宮内炎症があるといわれます。この感染を伴わない炎症と、通常の感染による炎症を鑑別することは、こどもの予後の観点から非常に重要なことです。

胎盤を病理検査に提出する状況として、自然早産、子宮内感染疑い症例、子宮内胎児発育遅延、妊娠高血圧症候群、常位胎盤早期剝離、癒着胎盤などがありますが、今回の調査では、当院で胎盤病理を提出した症例の中で、子宮内炎症の頻度、胎児心拍数モニタリング、分娩直近の採血、分娩方法を後方視的に解析することにより、子宮内感染時の胎児の生理学的反応の解明や、子宮内感染疑い時に胎盤、臍帯の組織学的検討を行うことの妥当性を評価します。

今回の調査により、子宮内感染による脳性麻痺予防の観点から、子宮内感染の正確な診断方法の確立、子宮内感染時の分娩管理方法の確立の一助となることが期待されます。

【研究の対象となる方】

2012年1月～2020年12月に本学附属病院で出産した方で以下に該当する方

1) 前期破水を含む自然早産、2) 臨床的子宮内感染、3) 妊娠高血圧症候群、4) 癒着胎盤、5) 常位胎盤早期剝離、6) 子宮内発育遅延、7) 胎児心拍数モニタリング異常を含む胎児異常、7) 分娩停止による子宮内炎症疑いのある方を対象とさせていただきます。

【研究の方法】

今回は、これら胎盤病理提出患者さんの

- ・母体背景（年齢、妊娠分娩歴、妊娠時年齢、経妊回数、経産回数、妊娠様式、前回分娩週数、過去の組織学的絨毛膜羊膜炎、直近早産の有無（過去複数回の妊娠の際、直近が早産であったかどうか））
- ・妊娠中背景・治療背景（抗菌薬投与の有無、切迫早産入院週数、頸管縫縮術施行有無、Antenatal Corticosteroid therapyの有無、羊水中 sludgeの有無）
- ・分娩結果（分娩週数、新生児体重、児、Apgar score（1分値、5分値）、臍帯動脈 pH、組織学的 CAM の有無、臍帯炎の有無）の差異を検討する予定です。

【研究組織】

氏名	所属
研究責任者 藤森敬也	産科婦人科学講座

分担研究者	安田俊	周産期小児地域医療支援講座
分担研究者	山口明子	周産期母子医療センター
分担研究者	経塚標	産科婦人科学講座
分担研究者	菅野亜矢	産科婦人科学講座
分担研究者	村田強志	産科婦人科学講座
分担研究者	福田冬馬	産科婦人科学講座

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
 公立大学法人福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 担当 経塚標
 電話:024-547-1290 FAX: 024-548-3878
 E-mail:kyozuka@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
 公立大学法人福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 担当 経塚標
 電話:024-547-1290 FAX: 024-548-3878
 E-mail:kyozuka@fmu.ac.jp